

9月9日から2日間、北海道で開催された機械学会年次大会に参加してきました。私は最終日の午前中にポスター発表を行う予定でしたが、3日分の旅費をいただいたため、8日に北海道へ向かいました。

8日の夜には、同じく学会に参加予定だったお隣の研究室の先生や学生の方々と交流する機会がありました。普段は同じフロアにしながら話す機会がほとんどなかったので、似た分野の研究をしている学生同士で交流でき、とても新鮮でした。また、林研究室からの参加学生全員が偶然同じホテルに泊まることがわかり、驚きつつも研究室のつながりを感じました。

9日の午前中は学生ポスター発表の下見をしました。分野が違うため理解が追いつかない部分もありましたが、面白い内容も多く楽しめました。想像以上に人が集まっていたので、発表前に雰囲気をつかめたのは良かったです。午後からは超音波関連のセッションを聴講しました。先生方の発表を聞くと、自分の知識不足を実感しつつも刺激を受け、今後の研究への意欲が高まりました。

10日は、いよいよ自分のポスター発表でした。聴講者の知識や関心は人によってさまざまで、どのくらい説明すればよいか悩む場面も多かったです。うまく答えられなかった質問もありましたが、それも含めて今後に活かしていきたいと思います。

発表後にはモエレ沼公園を訪れました。丘に登って見渡した景色は迫力があり、北海道の雄大な自然を感じられました。空気もどこか大阪より澄んでいて、とても気持ち良かったです。

今回の学会では、多くの人と交流する中で、自分に足りない部分を改めて知ることができました。この経験を励みに、今後の研究にもより一層取り組んでいきたいと思います。



